

北陸地方整備局
河川部 河川管理課・地域河川課

平成16年9月24日(金)

資料配付

「平成16年7月新潟・福島豪雨」及び「平成16年7月福井豪雨」に係る
堤防等の河川管理施設の緊急点検結果について

先般の「平成16年7月新潟・福島豪雨」及び「平成16年7月福井豪雨」により、河川堤防の破堤等により甚大な被害が発生したことを受けて、本格的な台風期を前に、全国の直轄管理河川及び都道府県管理河川を対象として河川堤防等の河川管理施設の状態を再度確認するため目視による緊急点検を8月31日までに実施しましたので、北陸地方整備局管内の点検結果についてお知らせ致します。

北陸地方整備局管内の直轄管理河川における緊急点検結果
災害復旧事業の申請箇所(予定含む)を除き、
今回の出水対応として緊急に対策を要すると判断した箇所は
4水系6河川で12箇所を発見し、全て応急対策を終えました。

北陸地方整備局管内の県管理河川(新潟県、富山県、石川県)における緊急点検結果
災害復旧事業の申請箇所(予定含む)を除き、
要対策箇所は、
新潟県：23水系96河川で417箇所
富山県：14水系33河川で72箇所
石川県：8水系10河川で11箇所
合計500箇所を発見し、逐次対策を実施します。

今回の緊急点検における点検項目、点検区間、要対策箇所の事例等詳細については、別紙参考資料を参照下さい。

なお、新潟県、富山県、石川県の個別の緊急点検結果につきましては、各県にお問い合わせ下さい。

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省北陸地方整備局
電話 025-266-1171(代表)
〔直轄管理河川担当〕
河川部 河川管理課長 矢田(内線3751)
建設専門官 日野(内線3752)
〔県管理河川(新潟県・富山県・石川県)担当〕
河川部 地域河川課長 浮須(内線3811)
課長補佐 杉本(内線3812)
各県 別紙参考資料参照

別紙参考資料

堤防等の河川管理施設の緊急点検について

(目的)

「平成16年7月新潟・福島豪雨」「平成16年7月福井豪雨」により、河川堤防の破堤等により甚大な被害が発生したことを受けて、本格的な台風期を前に、全国の直轄管理河川及び都道府県管理河川を対象として堤防等の河川管理施設の状態を再度確認するため目視による緊急点検を8月中に実施する。

(緊急点検項目)

点検箇所	点 検 項 目
高水敷、低水護岸	低水護岸の基礎部の変状
堤防表のり面 高水護岸	張芝の状況や人畜による踏み荒らし、車両のわだち状況 坂路、階段取付部の洗掘や浸食 のり面の亀裂 モグラ等の小動物の穴 護岸の基礎部の変状 護岸や浸食防止シート等、耐浸食構造物の変状
堤防天端	亀裂 局所的に低い箇所の有無 天端舗装端部の状況
堤防裏のり面	張芝の状況や人畜による踏み荒らし、車両のわだち状況 小段の逆勾配箇所や局所的に低い箇所の有無 坂路、階段取付部の洗掘や浸食 のり面の亀裂 モグラ等の小動物の穴
裏のり尻	表層付近の湿潤状態 堤脚保護工の変状 局所的に低い箇所の有無 しぼり水の有無 モグラ等の小動物の穴
堤脚水路	水路の変形、沈下
堤内地	表層付近の湿潤状態 噴砂の跡
樋門等構造物周辺	取付け護岸の変状、クラック 施設周辺の堤防との段差(抜けあがり) 胸壁、翼壁等の部材接合部の開口

北陸地方整備局管内における緊急点検結果

1. 直轄管理河川の緊急点検結果

(点検区間)

12水系28河川：1,136kmを点検(管理延長1,302kmの87%)

・山付区間等を除く有堤部区間を点検

(点検結果)

要対策箇所(8月31日現在)但し、災害復旧事業(予定含む)の申請箇所及び軽微な変状箇所は除く
4水系6河川：12箇所(対策済)

(点検の結果から見た緊急に対策を要すると判断した箇所の事例)

護岸の破損	1箇所 8%	(事例)新潟県： ^{しなの} 信濃川水系 ^{うおの} 魚野川	写真
亀裂(のり面、堤防天端)	4箇所 33%	(事例)新潟県： ^{しなの} 信濃川水系 ^{しなの} 信濃川	写真
のり面崩れ、土砂流失	5箇所 42%	(事例)石川県： ^{かけはし} 梯川水系 ^{かけはし} 梯川	写真
河岸洗掘	2箇所 17%	(事例)富山県： ^{くろべ} 黒部川水系 ^{くろべ} 黒部川	写真
モグラ・猪等による堀荒らし	0箇所 0%		
堤体からの漏水	0箇所 0%		

2. 県管理河川の緊急点検結果

(点検区間)

新潟県：1,854 kmを点検
 富山県：647 kmを点検
 石川県：882 kmを点検

点検区間の延長は、点検を行う区間の左右岸の延長の合計である。

- ・新潟県：「有堤部」(堤防天端高から堤内地盤高まで $h=0.6\text{m}$ 以上の区間)を点検。
- ・富山県：「有堤部」+「樋門等構造物周辺」等を点検。
- ・石川県：「有堤部」+「堀込河道の人家連担部」を点検。

(点検結果)

要対策箇所数(8月31日現在)但し、災害復旧事業(予定含む)の申請箇所は除く

新潟県・・・23水系 96河川 417箇所
 富山県・・・14水系 33河川 72箇所
 石川県・・・8水系 10河川 11箇所

(点検の結果から見た変状箇所の事例)

護岸の破損	279箇所 56%	(事例)新潟県：荒川水系女川 (事例)石川県：大野川水系宇ノ気川	写真 写真
亀裂(のり面、堤防天端)	77箇所 15%	(事例)新潟県：信濃川水系中田川	写真
のり面崩れ、土砂流失	39箇所 8%	(事例)新潟県：信濃川水系刈谷田川 (事例)富山県：新堀川水系新堀川	写真 写真
河岸洗掘	21箇所 4%	(事例)新潟県：信濃川水系能代川	写真
モグラ・猪等による堀荒らし	35箇所 7%		
堤体からの漏水	9箇所 2%		
その他	40箇所 8%		

3. 要対策箇所の状況写真

【直轄河川】

(写真)



護岸の破損（対策後）

(写真)



亀裂（のり面）



対策後

(写真)



のり面崩れ (堤防舗装端部の陥没)



対策後

(写真)



河岸洗掘



対策後

【県管理河川】
(写真)



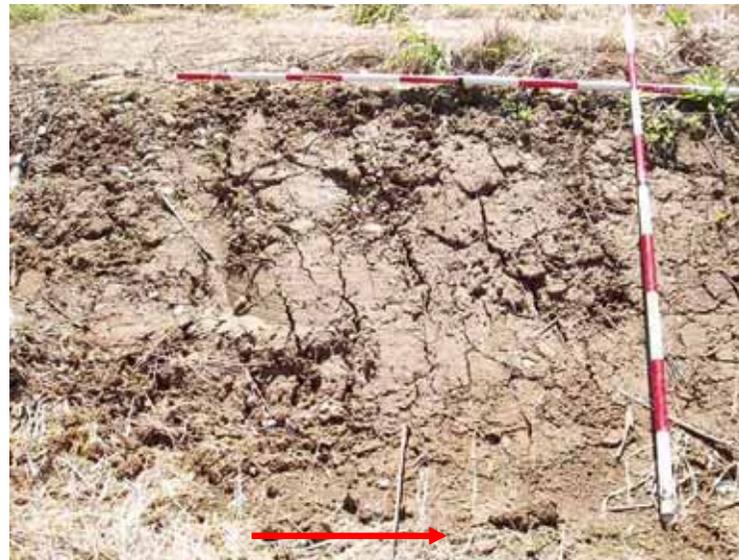
護岸の破損

(写真)



河床洗掘による護岸の破損

(写真)



堤防表のり面の亀裂

(写真)



堤防裏のり面の崩れ

(写真)



矢板護岸頭冠工背後の陥没

(写真)



河岸洗掘

堤防等の河川管理施設の緊急点検状況【直轄管理河川】

平成16年9月16日現在

地方整備局等	点検対象区間			点検実施延長				要対策箇所			対策状況
	水系数	河川数	延長(km)	水系数	河川数	延長(km)	実施率(%)	水系数	河川数	箇所数	対策済箇所数
北海道開発局	13	123	2,573	13	123	2,573	100%	0	0	0	0
東北地方整備局	12	79	1,514	12	79	1,514	100%	4	4	6	6
関東地方整備局	8	79	2,471	8	79	2,471	100%	2	7	8	8
北陸地方整備局	12	28	1,136	12	28	1,136	100%	4	6	12	12
中部地方整備局	13	45	1,113	13	45	1,113	100%	4	4	6	6
近畿地方整備局	10	45	928	10	45	928	100%	4	6	14	7
中国地方整備局	13	37	1,155	13	37	1,155	100%	6	7	10	10
四国地方整備局	8	15	528	8	15	528	100%	4	4	5	4
九州地方整備局	20	103	1,780	20	103	1,780	100%	7	7	9	7
合計	109	554	13,197	109	554	13,197	100%	35	45	70	60
堤防等管理延長(km)			13,270								

1. 堤防等管理延長は、「河川便覧 2002」による。(平成14年3月末現在)
2. 要対象区間の延長は、点検を対象とする堤防区間の左右岸の延長の合計である。
3. 点検実施状況の延長は、点検を実施した堤防区間の左右岸の延長の合計である。
4. 要対策箇所には、災害申請箇所(予定含む)を含んでいない。

堤防等の河川管理施設の緊急点検状況【県管理河川】

平成16年9月16日現在

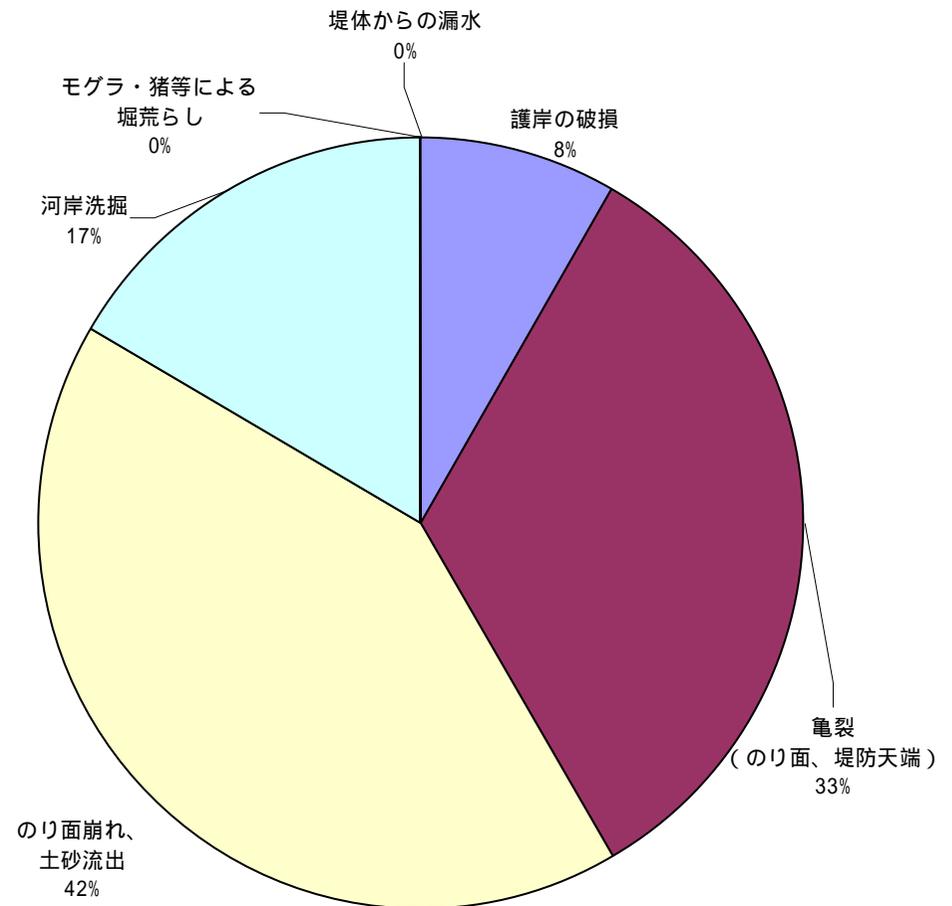
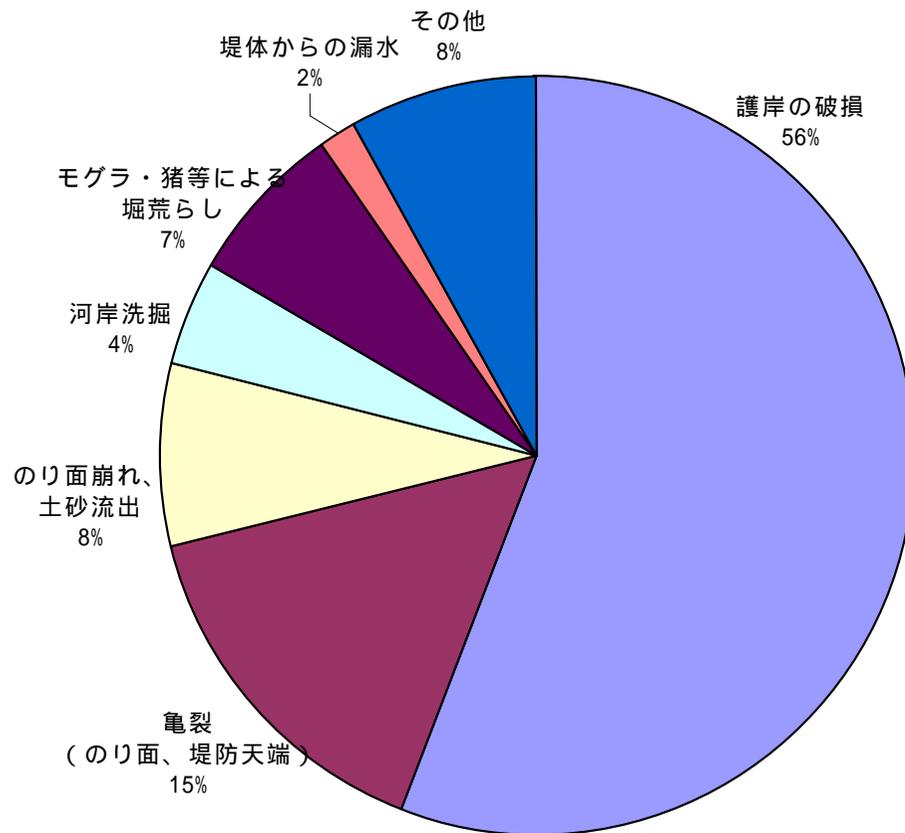
県名	河川延長		点検対象区間		点検実施状況			要対策箇所		対策状況
	水系数	延長(km)	水系数	延長(km)	水系数	延長(km)	実施率(%)	水系数	箇所数	対策済箇所数
新潟県	148	4,922	53	1,854	53	1,854	100%	23	417	0
富山県	35	1,480	28	647	28	647	100%	14	72	0
石川県	62	1,167	55	882	55	882	100%	8	11	0
北陸計	245	7,569	136	3,382	136	3,382		45	500	0

1. 河川延長は、県調べによる。(平成16年9月16日現在)
2. 点検対象区間の延長は、点検を対象とする区間の左右岸の延長の合計である。
3. 点検実施状況の延長は、点検を実施した区間の左右岸の延長の合計である。
4. 要対策箇所には、災害申請箇所(予定含む)を含んでいない。

北陸地方整備局管内における要対策箇所の状況別の割合

県管理区間の要対策箇所 500 箇所を対象
(新潟県、富山県、石川県)

直轄管理区間の要対策箇所 12 箇所を対象



各県の問い合わせ先

県名	担当部局	役職	担当者名	連絡先
新潟県	土木部河川管理課	課長補佐	新保 弘	TEL025-280-5849
		河川維持係長	棚橋 元	TEL025-280-5414
富山県	土木部河川課	主幹	福井 正和	TEL076-432-6251
石川県	土木部河川課	課長補佐	奥村 正紀	TEL076-225-1737

堤防等の河川管理施設の緊急点検結果について

金沢河川国道事務所

緊急点検について

先般の「平成16年7月新潟・福島豪雨」及び「平成16年7月福井豪雨」により、河川堤防の破堤等により甚大な被害が発生した。

出水期における出水対策について、国土交通省としては、毎年、出水期前に事務次官通達などにより各地方整備局に指示するとともに各都道府県等に対し要請を行ってきたところであるが、先般の豪雨災害をうけ、本格的な台風期を迎えるにあたり堤防等の河川管理施設の状態を再度確認するため、平成16年7月23日付けで、目視による緊急点検の実施と必要に応じ修繕工事その他の適切な措置を講ずること等について、各地方整備局に指示があった。

緊急点検の対象区間は、直轄管理区間では基本的に堤防区間全てを対象とし、点検は、ほとんどが徒歩により資料-1の点検項目を参考に実施された。

点検区間

堤防の緊急点検は、金沢河川国道事務所管内の直轄管理区間では、堤防区間全てを対象に実施した。

緊急点検は手取川と梯川の合計で61.2km(点検対象区間の100%)の区間で終了した。

要対策箇所

金沢河川国道事務所管内における上記の緊急点検の結果、対策が必要な箇所は、災害復旧事業の申請箇所及び軽微な変状箇所と認められる箇所を除き、以下のとおりである。

記

梯川 1箇所 (詳細は別紙のとおり)

手取川 なし

以上。

問 合 せ 先

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所

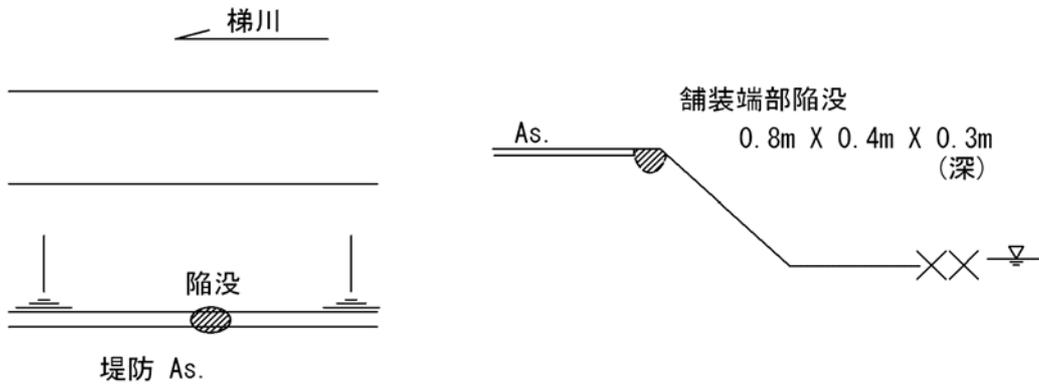
調査第一課長 二俣 秀

076-264-8800(内線351)

北陸地方整備局 金沢河川国道事務所管内における要対策箇所 (全 1箇所)

水系名	梯川	河川名	梯川			
場所	キ口	0.2km-50	左右岸	左岸	地先名	小松市安宅町地先
点検場所	堤防天端					

状況図面



措置前の状況写真



措置方法及び写真

埋戻し 土羽打直し(整形及び芝張り) 9月完

